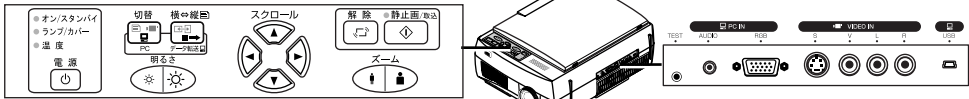


iP Viewerソフトウェア クイックリファレンス

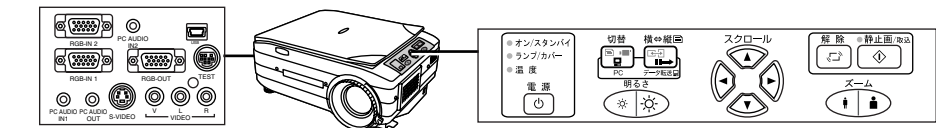
インテリジェントプロジェクタのiP Viewerソフトウェアの基本的な使いかたを記載しています。詳細については、iP Viewer取扱説明書をご覧ください。
以降インテリジェントプロジェクタはプロジェクタ、iP ViewerソフトウェアをiP Viewerと略します。

プロジェクタの各操作ボタンと接続端子

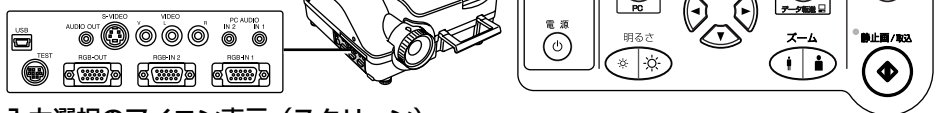
型名 iP-25



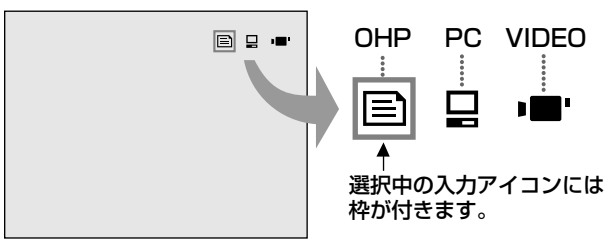
型名 iP-55



型名 iP-750

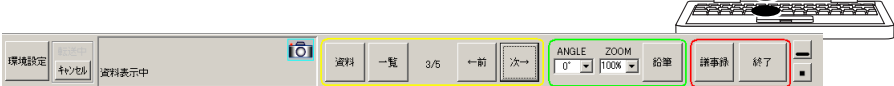


入力選択のアイコン表示 (スクリーン)



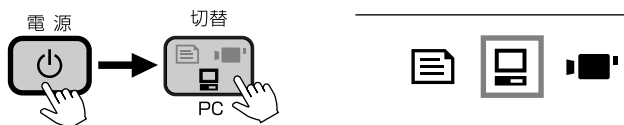
↑
選択中の入力アイコンには
枠が付きます。

iP Viewerのステータスバー (パソコン)



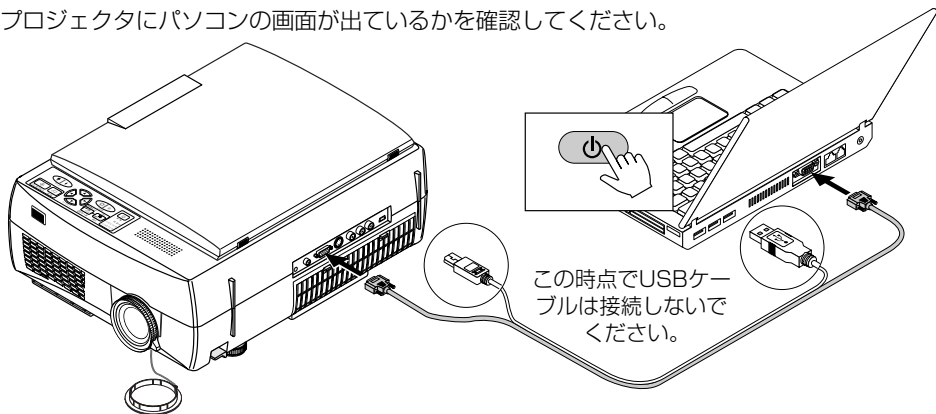
ステップ1 接続とiP Viewerの起動

1 プロジェクタの電源を入れ、[PC] に切り替える。



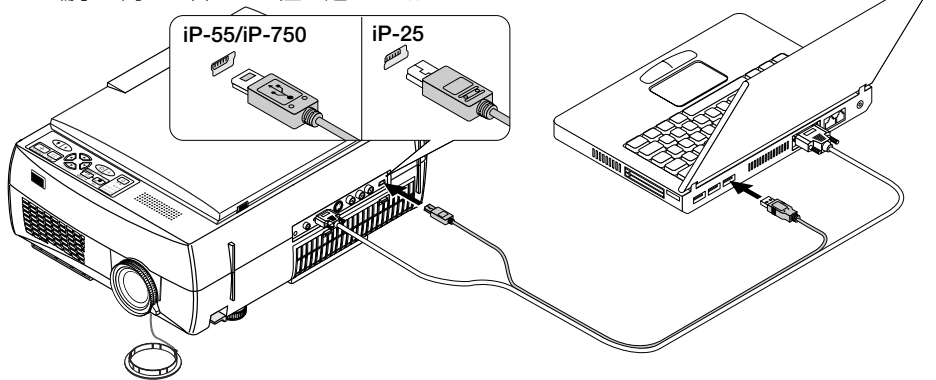
2 RGBケーブルを接続し、パソコンを立ち上げる。

プロジェクタ側とパソコン側でUSBコネクタの形状が異なりますので注意してください。プロジェクタにパソコンの画面が出ているかを確認してください。



3 USBケーブルを接続する。

USB端子の向きに合わせて差し込んでください。

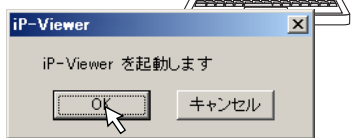


4 「iP Viewerを起動しますか」の画面を表示しますので [OK] ボタンをクリックする。

iP Viewerが起動します。

5 iP Viewer 取扱説明書はiP Viewerの [環境設定] 画面の [取扱説明書を見る] ボタンをクリックして見ることができます。

iP Viewerは、パソコンにはインストールされません。プロジェクタとUSBケーブルで接続することで起動します。



ステップ2 パソコンと接続してできること

OHP画面、パソコン画面、ファイルの登録投写や取り込み資料の加工等が行えます。

●OHP投写画面の保存 (スキャナ機能)

A4サイズまでの資料が登録できます。

《プロジェクタ側の操作》

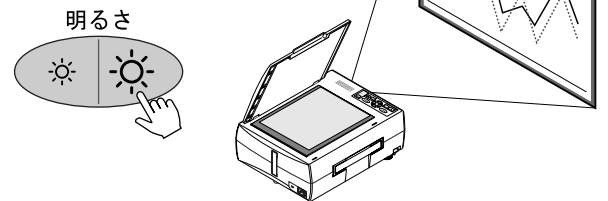
(一旦プロジェクタのメモリに保存します)

1 入力を [OHP] に切り替える。



2 資料をガラス面にのせ、取り込み位置を調整する。

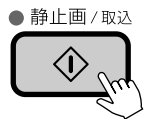
明るさを調整する場合は、明るさボタンを押して調整してください。



3 [静止画/取込] ボタンを押す。

取込中は投写画面の上に「USB」を表示します。「USB」の表示が消えれば、次の資料の取り込みができます。

複数保存するには、2、3の手順を繰り返します。
最大32枚の取り込みができます。



4 入力を [PC] に切り替えます。



5 [データ転送] ボタンを押す。

パソコンへ転送が始まります。



《パソコン側の操作》

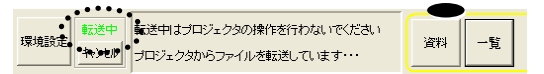
6 “転送中” が緑色表示する。

完了すると“転送中”の表示が消え (薄いグレイ)、赤字で“プロジェクタからのファイル転送完了しました”のメッセージが表示されます。



7 転送データを確認するには [一覧] ボタンをクリックして、一覧画面を表示させる。

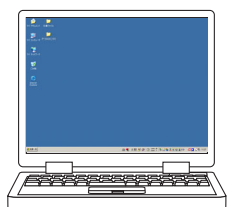
もどる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。表示したい資料をクリックすると全画面表示されます。



●PC画面の保存 (画面キャプチャ機能)

パソコンで表示しているエクセル、ワード、ブラウザ等の画面をキャプチャして登録します。

1 ステータスバーの [最小化] ️ ボタンをクリックしてiP Viewerを最小化する。



2 アプリケーションを起動して保存したい画面を表示させる。



3 [画面キャプチャーツール] ️ をクリックしてキャプチャする画面を一番前に表示させる。 [画面キャプチャーツール] をクリックすることにより後のウィンドウが一番前に出ます。



4 [取込] ️ ️ ボタンをクリックして登録する。

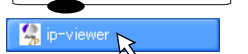
[画面キャプチャーツール] をクリックして、iP Viewer画面を前に出します。キャプチャした資料は一覧画面で ️ (カメラ) マークが付きます。



5 再びiP Viewerを表示させる。

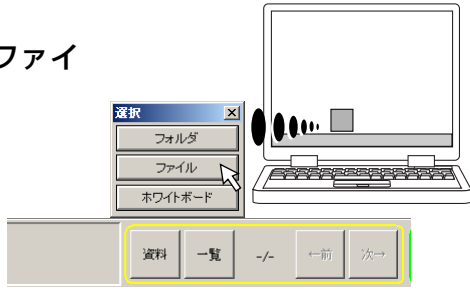
タスクバーの ️ をクリックします。

・iP Viewerでキャプチャして保存したパソコンの画面はハードコピーした画面です。この画面でアプリケーションの操作は行えません。操作を行う場合は [画面キャプチャーツール] ️ をクリックしてアプリケーション画面に戻してください。

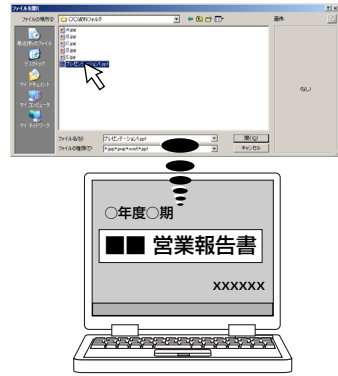


●画像ファイル、Powerpointファイルの取り込み

- 1 [資料] ボタンをクリックし、[ファイル] ボタンをクリックする。



- 2 画像ファイルやPowerpointファイルを選択し[開く] ボタンをクリックする。
Powerpointファイルは、自動でJPEG形式に変換され、始めのページを投写します。

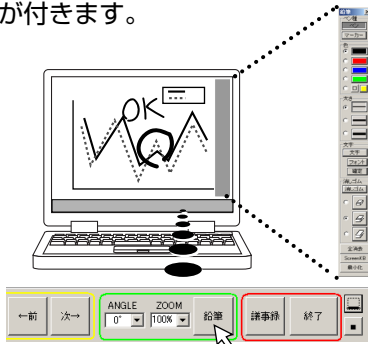


●取り込みデータの加工

加工には、鉛筆ツールを使用して登録した資料に線や文字を書き加える、向きを変える、大きさを変える、画像を移動する（投写画面より大きな画像の場合）ことができます。資料を加工すると加工後の画像が議事録に登録（保存）されます。元資料（原画）も残したい場合は、はじめに資料を画面キャプチャーしてください。一覧表示ではキャプチャーした資料にカメラマークが付きます。

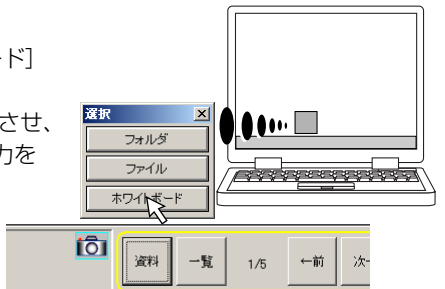
《投写資料に書き加える》

[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、ペンの太さや色を選択して描画します。文字をキーボードから入力することもできます。使いかたはiP Viewerの取扱説明書をご覧ください。



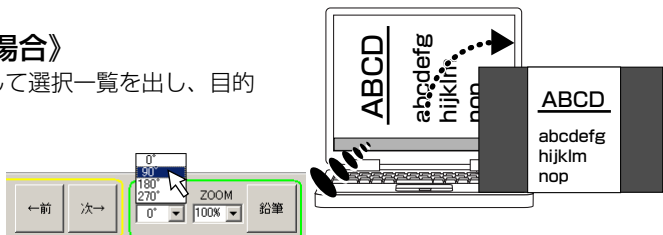
《ホワイトボードを表示し加工する》

[資料] をクリックし、選択画面の[ホワイトボード]を選択すると白画面を表示します。
[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、鉛筆ツールを使って文字や線を描いたり、文字入力を行います。



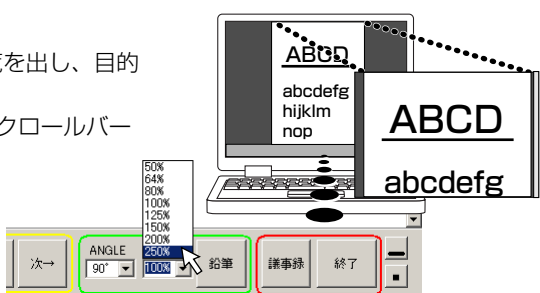
《資料の向きを変える場合》

ANGLの[▼]をクリックして選択一覧を出し、目的の角度をクリックします。



《資料の大きさを変える場合》

ZOOMの[▼]をクリックして選択一覧を出し、目的の拡大率をクリックします。
投写画面より大きく拡大した資料は、スクロールバーで位置の移動ができます。



ステップ3 プレゼンテーションの実施

プレゼンテーションを実際に行う場合の操作の流れと要点を記載しています。

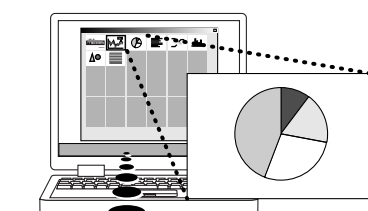
- 1 資料の登録を始めに行う。

登録には3通りあります。

- ・Powerpointファイル資料の場合：“ステップ2”の“画像ファイル、Powerpointファイルの取り込み”を参照
- ・プロジェクトのOHPから取り込んだ画像を資料にする場合：“ステップ2”の“OHP投写画面の保存（スキャナ機能）”を参照
- ・Powerpoint以外のアプリケーションを資料にする場合：“ステップ2”の“PC画面の保存（画面キャプチャ機能）”を参照

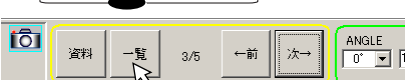
- 2 一覧表示から資料を選んで投写する。

[一覧] ボタンをクリックして一覧画面（サムネイル）を表示させ、目的の資料をクリックします。



- 3 ページを切り替える。

[次→] または [←前] ボタンをクリックして切り替えます。



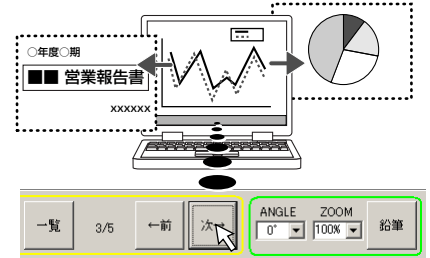
こんなとき……

会議中の投写資料に書き加える、向きを変える、拡大／縮小する場合：
“ステップ2”の“取り込みデータの加工”参照

ご注意：元資料（原画）を残しておきたい場合は、始めに画面キャプチャ機能を使って複製してください。“ステップ2”の“PC画面の保存（画面キャプチャ機能）”参照

スライドショーとして使用する場合：

- 1) [資料] → [フォルダ] → [フォルダの参照] から対象フォルダを選択し、一括登録します。最初の資料が投写されます。
- 2) [次→] をクリックするごとに、ページが順に切り替わります。



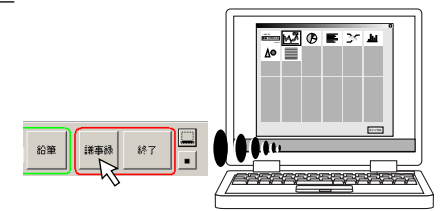
ステップ4 プレゼンテーションの終了

●議事録保存の確認と不要資料の削除

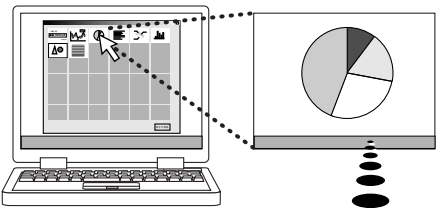
一度でも投写した資料は議事録に残ります。

- 1 [議事録] ボタンをクリックする。

これでよければ [キャンセル] ボタンをクリックする。



- 2 不要な資料を削除するときは、不要資料をクリックする。



- 3 [削除] ボタンをクリックすると削除されます。

続けて削除するときは、再び [議事録] ボタンをクリックして手順1、2の操作を行うか、[次→] または [←前] ボタンをクリックして切り替えてください。

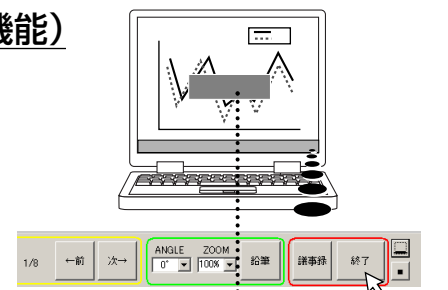


一覧表示のデータは削除されません。

●議事録を保存する（データセーブ機能）

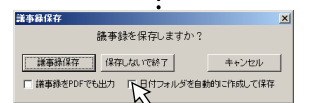
- 1 [終了] ボタンをクリックします。

「議事録保存」画面を表示します。
議事録を保存しない場合は、[保存しないで終了] をクリックし、次に表示する確認画面で [はい] をクリックします。



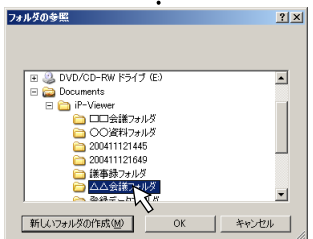
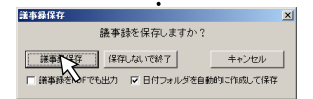
- 2 議事録保存のフォルダを選択する。

日付フォルダを作成する場合は、“日付フォルダを自動的に作成して保存”にチェックを入れます。自分でフォルダを作成する場合は、チェックを外します。



- 3 [議事録保存] ボタンをクリックする。

フォルダの参照画面を表示します。
議事録を保存するフォルダをクリックしてください。
チェックを外した場合（自分でフォルダを作成）は [新しいフォルダの作成(M)] をクリックして、新しいフォルダにフォルダ名を入力してください。



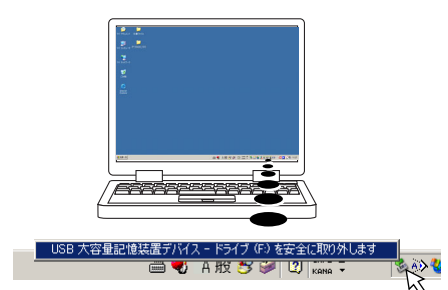
- 4 [OK] をクリックします。

議事録資料を保存してソフトウェアが終了します。

プロジェクトとパソコンの接続を外すときはパソコン側でUSBデバイスとの切断操作を行ってください。

- 1 デスクトップ画面のタスクバー（右下）にある (切断アイコン) をクリックする。

- ① ドライブの選択表示から [USB大容量記憶装置 デバイス-ドライブ] を選択します。
- ② [停止] をクリックします。
- ③ [OK] をクリックします。
ご使用のOSによっては表示が異なります。



- 2 “USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。”の表示が出たら安全に取り外すことができます。

